

神戸市内景況・雇用動向調査

第44回 結果報告書

令和7年3月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2025年3月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14
3. アンケート内容（オンライン調査）	21

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数752、回収率：37.6%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	2	63	99	164 (400)
食料品	1	9	8	18 (34)
化学・石油	0	5	11	16 (42)
ゴム	0	8	18	26 (58)
鉄鋼・金属	0	15	26	41 (49)
一般機械	0	7	4	11 (84)
電信・輸送	1	6	8	15 (60)
その他	0	13	24	37 (73)
非製造業	7	265	316	588 (1,600)
建設業	0	10	64	74 (125)
運輸・倉庫業	0	20	14	34 (70)
卸売業	0	32	44	76 (113)
小売業	3	46	58	107 (310)
不動産業	0	9	45	54 (111)
情報サービス	1	12	13	26 (36)
宿泊・飲食	1	38	14	53 (311)
対事業所	1	57	39	97 (286)
対個人	1	41	25	67 (238)
合計	9	328	415	752 (2,000)

(定義)

() 内は調査対象企業数

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員数5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2025年3月1日（土）～2025年3月20日（木）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（%）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（%）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2025年3月）～結果の概要～

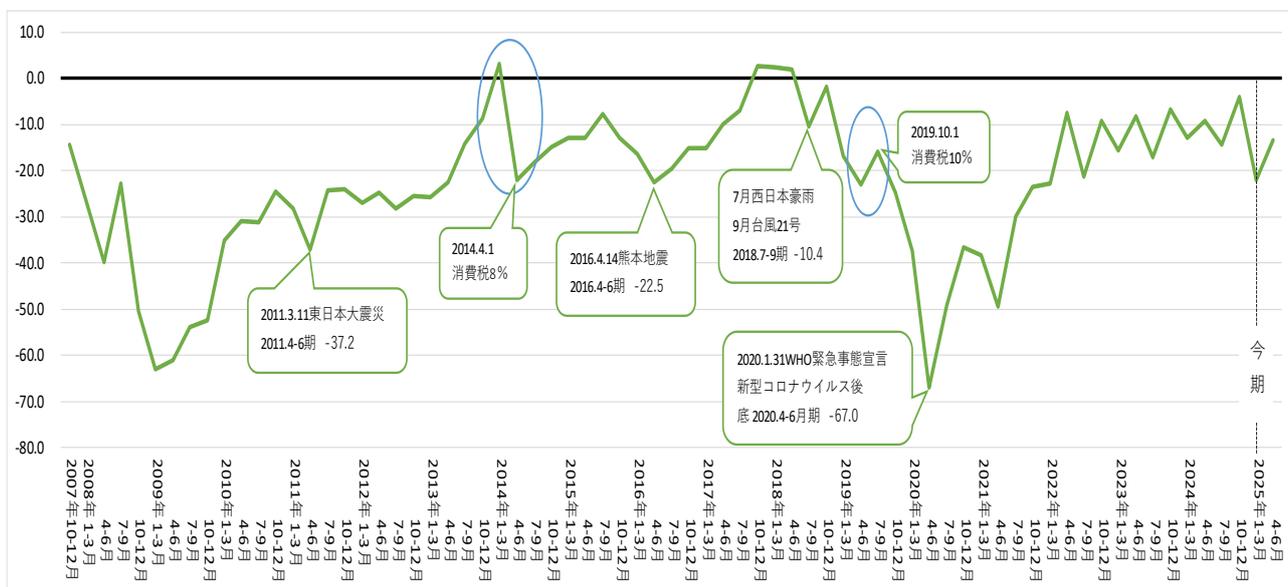
自社業況DIは、全産業でマイナス22.1ポイントと、前期より18.0ポイントの低下

先行きについて、来期は増加傾向に転じる見通し

- 今期（2025年1～3月期）の業況DIは▲22.1と、前期（▲4.1）と比べて18.0ポイント**低下**した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲22.6と、前期（▲1.9）より20.7ポイント**低下**した。
非製造業の今期の業況DIは▲22.0と、前期（▲4.8）より17.2ポイント**低下**した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは0.0と、前期（▲11.1）より11.1ポイント**増加**した。
中規模企業の業況DIは▲18.7と、前期（11.0）より29.7ポイント**低下**した。
小規模企業の業況DIは▲25.3と、前期（▲15.9）より9.4ポイント**低下**した。
- 先行きについて、来期（2025年4～6月期）の業況DIは▲13.5と、今期（▲22.1）より8.6ポイント**増加**する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：752社、回収率：37.6%）

【調査時期】 2025年3月1日（土）～2025年3月20日（木）

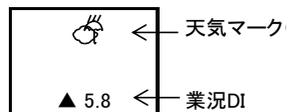


区分1	区分2	業況DI（上昇一下降）		
		2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）
全体		-4.1	-22.1	-13.5
規模別	大規模	-11.1	0.0	-44.4
	中規模	11.0	-18.7	-2.1
	小規模	-15.9	-25.3	-21.8
業種別	製造業	-1.9	-22.6	-5.5
	非製造業	-4.8	-22.0	-15.7

【業種別動向】(前期:令和6年10月~12月期、今期:令和7年1月~3月期、来期:令和7年4月~6月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
	全体	▲ 4.1	▲ 22.1	▲ 13.5	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	16.7	▲ 27.8	22.2	・売上が回復しない中、物価・人件費の上昇により採算が取れず苦しい状況が続いており、来期も苦しい展開を予想。(食料品製造業) ・固定取引先との取引が中心で売上の大きな変動はないが、物価高騰の影響で業況は下降傾向。来期も物価高騰の影響で景況は下降が続くと予想。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	▲ 6.3	▲ 56.3	▲ 6.2	・今期は前期と比べて大きな取引もなく安定しており、不変。来期も現時点で大きな変化はなく、同様に推移する見込み。(化学工業) ・今期は売上に変化はなかったが、来期は受注状況から増加が見込まれ、上昇と予想。(プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	▲ 15.4	▲ 42.3	▲ 20.0	・景況に大きな変化は無く、全体的に前期と同じ状況。来期は改善すると予測したが、そこまで大きな変化は無いと見込む。(ゴム製品製造業) ・今期はスポット案件の急増で業績が上昇、来期は受注未定で不透明なため下降と判断。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	7.3	▲ 24.4	▲ 14.6	・商品付加価値の高さから安定した受注を維持できており、来期は大きな取引もなく現状維持の見込みのため、不変と判断。(金属製品製造業) ・今期の2月は取引先の在庫調整により不調だったが、他月で補填できた。ただ、来期の受注見通しは良くない。(金属製品製造業)
	一般機械器具	27.3	0.0	9.1	・受注状況は概ね安定して推移しており、来期も変動は無いと見込んでいる。(はん用機械器具製造業) ・今期は新規取引が発生せず、既存取引に関しても増加しなかった。来期に関しても大きな変動は見込んでいない。(生産用機械器具製造業)
	通信・輸送機器等	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 13.3	・コロナ禍収束のタイミングから受注環境は改善しており、今期もその流れが続いたが、物価上昇により粗利は低下傾向にある。(電気機械器具製造業) ・今期はお取引先企業様の閉歇期による受注数減少で業況が下降。来期も業況の回復は難しいと予想している。(輸送用機器器具製造業)
	その他の製造業	▲ 16.2	▲ 2.7	0.0	・今期は物価高騰による買い控えが見られ、来期も物価上昇が続く見通しのため、在庫を抱えない方針で対応。(繊維工業) ・顧客の買い控えや商品魅力の低下、市場規模の縮小などが影響して業況は低下。(なめし革・同製品・毛皮製造業)
非製造業	建設業	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 18.9	・農業土木は田植え前の1月から3月は繁忙期であり、この時期に受注が増えるため、業況は上昇するが、来期は反転予想。(土木工業) ・今期は材料費の高騰や品不足の影響で納期が遅れ、大阪万博の影響も相まって、全体的に大きな業況の動きは見られなかった。(設備工事業)
	運輸・倉庫業	▲ 5.9	▲ 23.5	▲ 11.8	・今期は物価上昇の影響はあるものの、価格変更等に対応した事で売上・利益共に大きな変動は無く乗り越え、来期も同様の推移を予測。(道路貨物運送業) ・今期は春節前の駆け込みや春節明けの物量が少なかった為、業況は下降。一方で価格転嫁は業界全体で勢い付いている為、原価は上昇傾向にある。(運輸付帯サービス業)
	卸売業	▲ 25.0	▲ 38.2	▲ 26.6	・今期は、食品の価格上昇もあって受注が減少し、業況は下降。来期についても、同様に食品の価格上昇と消費減少から厳しい状況。(飲食品卸売業) ・今期は3月末が決算の企業が多いため、この時期に注文が増え、業績は上昇。来期については今期の反動で業況は一時的に下降する。(機械器具卸売業)
	小売業	▲ 11.2	▲ 26.1	▲ 20.5	・今期の業況は前期から大きく変わらなかった。来期に関しても大きな変化は予測していない。(織物・衣服・身の回り品小売業) ・今期の年末は状況が良かったものの、例年通り1月と2月は売上が減少する傾向であった。来期は仕入価格が上昇している為、鈍化に転じると予測。(その他の小売業)
	不動産業	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 13.2	・今期は物件の売買が少なく、業況に大きな変動はなかった。来期も季節的に大きな変動がないため、業況は変わらず不変と予想。(不動産取引業) ・企業向けオフィスの賃貸が主な業務であり、新規契約や解約がなければ業況に大きな変化はなく、来期に関しても大きな変化は見込んでいない。(不動産賃貸業)
	情報サービス	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 27.0	・今期は発注数に差がなく、物価上昇の影響も少ない。来期も見積依頼から予測できる売上に大きな変化は無い。(情報サービス業) ・今期は全体的に業況が下降しており、受注は伸び悩んだ。来期は現状維持の予想だが、運営するオンラインゲームのヒットを期待。(情報サービス業)
	宿泊・飲食	26.5	▲ 34.0	▲ 11.3	・今期は、前期と売上に大きな変動はなく、コロナ前の水準には回復していない状況で、来期の改善も見込めない。(飲食店) ・今期は南京町という観光地の特性により、国内外からの観光客が増加。来期はゴールデンウィークにより売上増加を見込む。(飲食店)
	対事業所サービス	3.0	▲ 12.3	▲ 2.0	・今期については、業界全体の市場や業況に大きな変動がなく、来期についても大きな変化は見込んでいない。(専門サービス業) ・石油コンビナート地域の防災業務に従事しており、月々の委託金が一定で、支出も安定。今後も業界全体に変動がないため、安定した状況が続くと予想。(専門サービス業)
	対個人サービス	▲ 6.0	▲ 32.9	▲ 14.9	・物価上昇の影響は単価改定で対応しており、来期に関しても大きな変動は見込んでいない。(洗濯・理美容・浴場業) ・今期は入校者数が多いものの、辞める方もいるため業況は変動なし。来期は体験入学や問い合わせが増えており業況改善に期待。(教育・学習支援業)

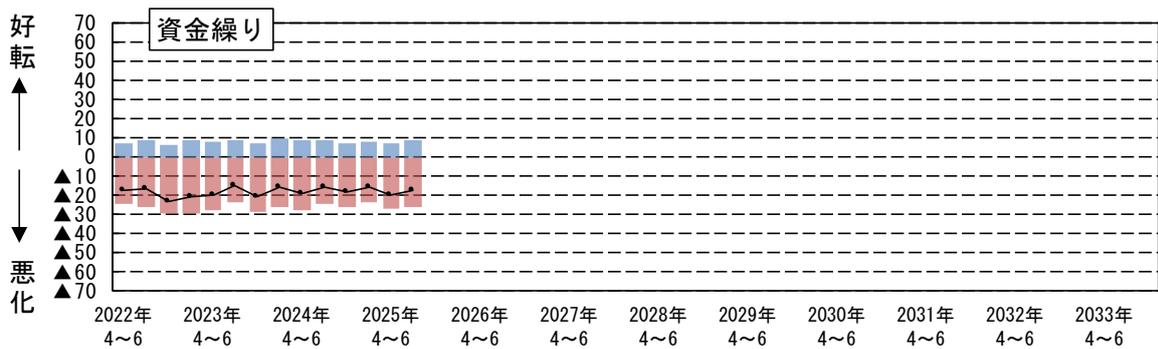
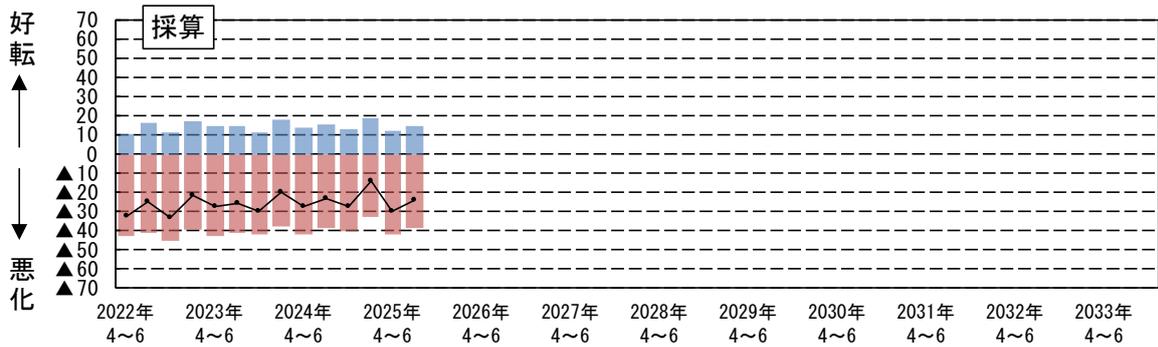
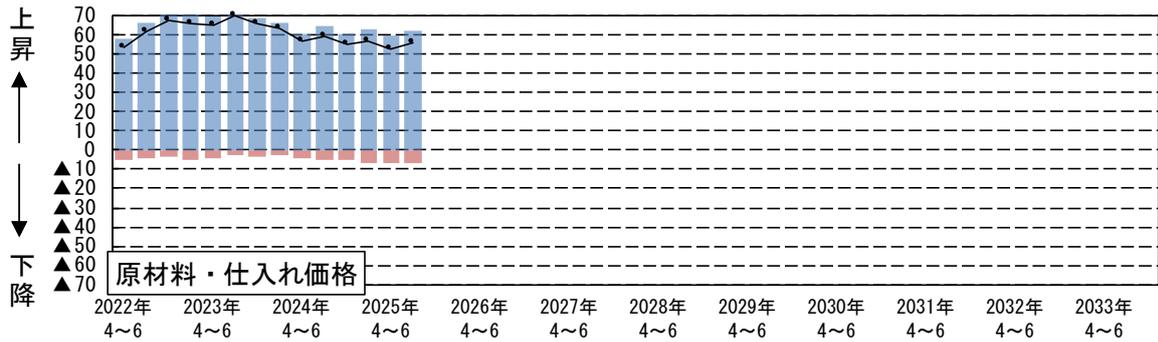
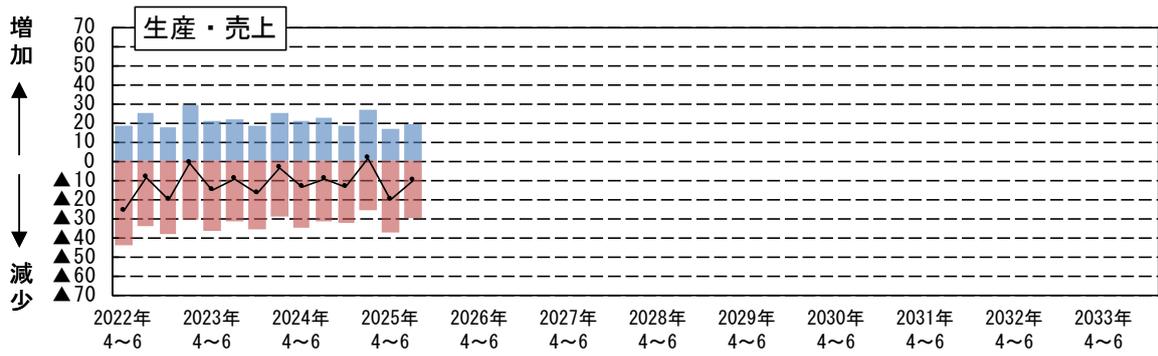
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

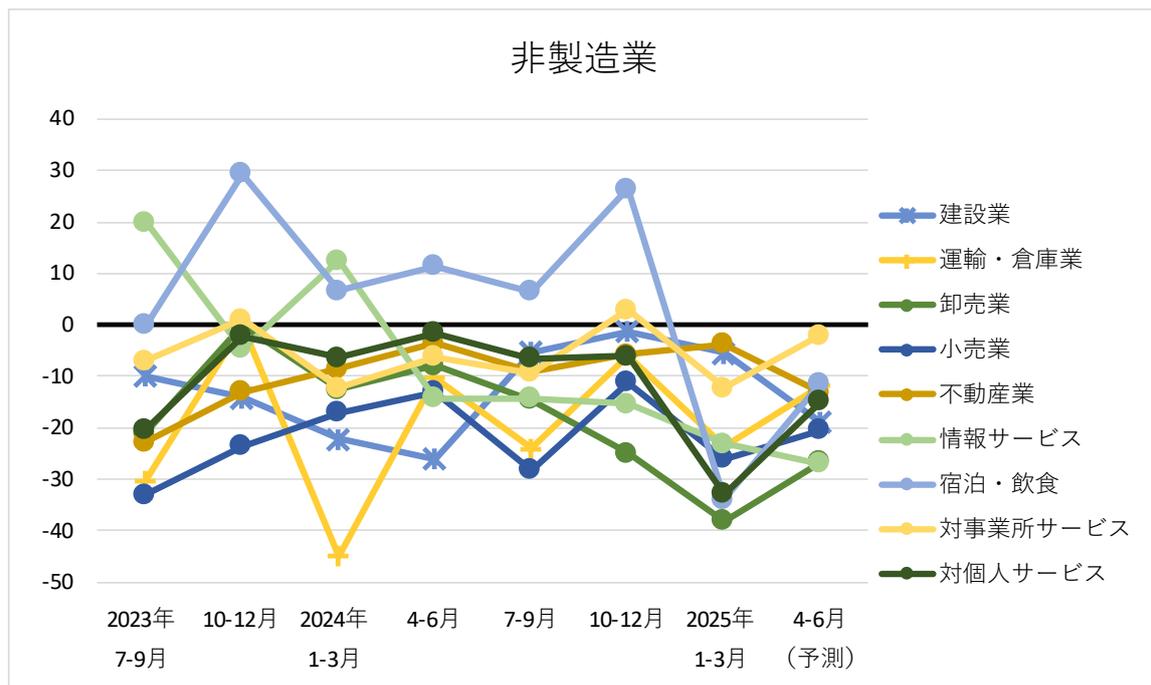
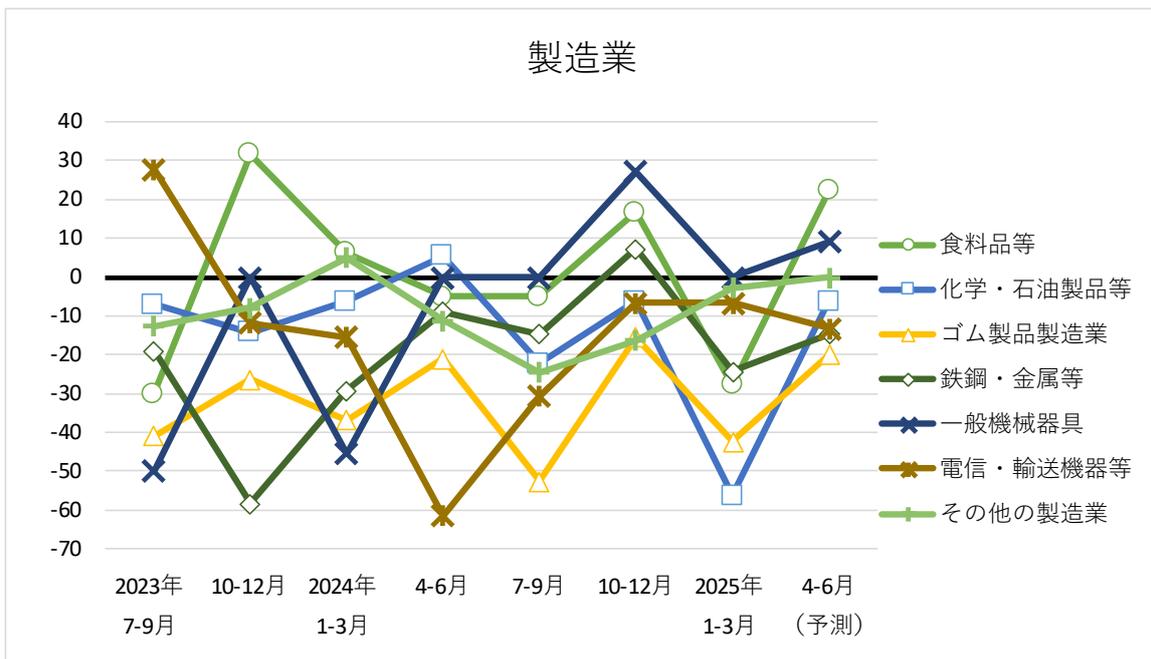
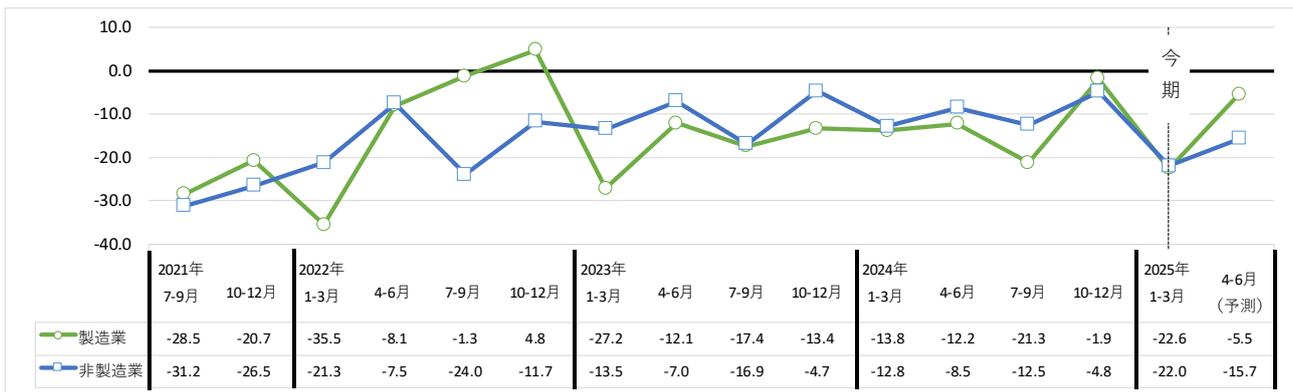
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

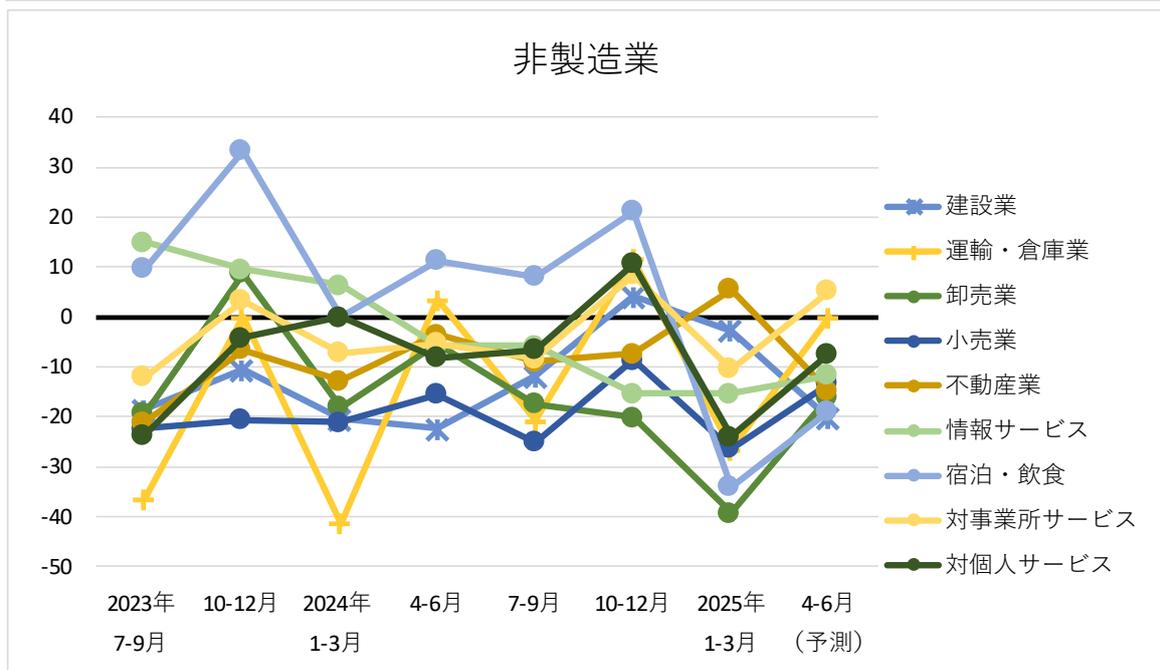
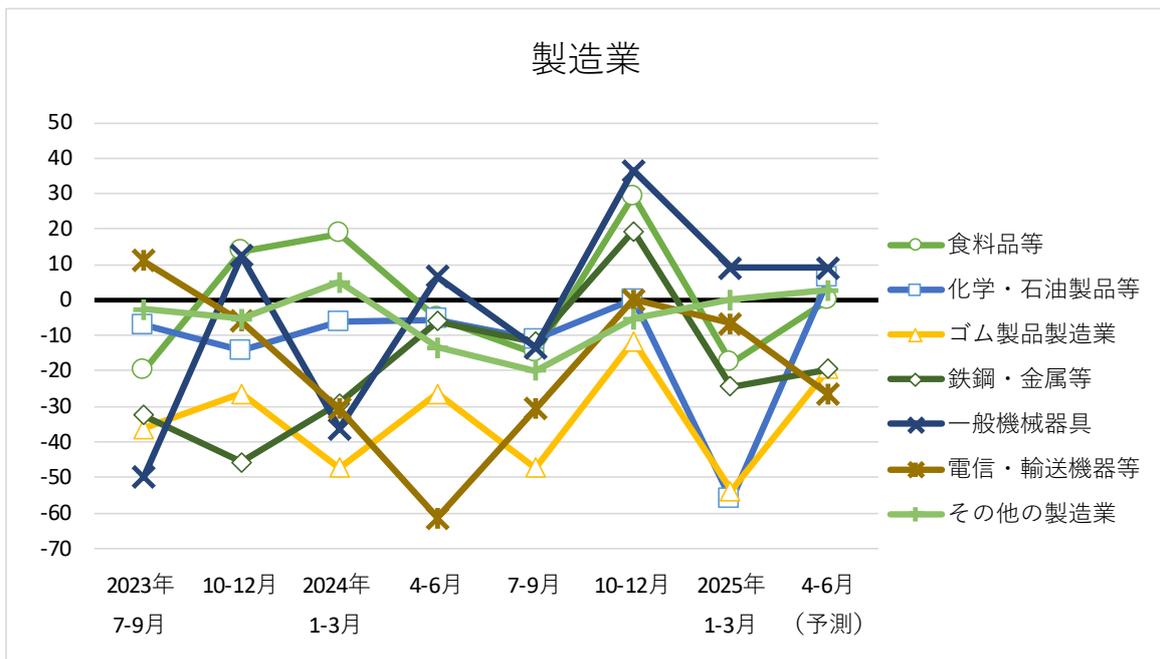
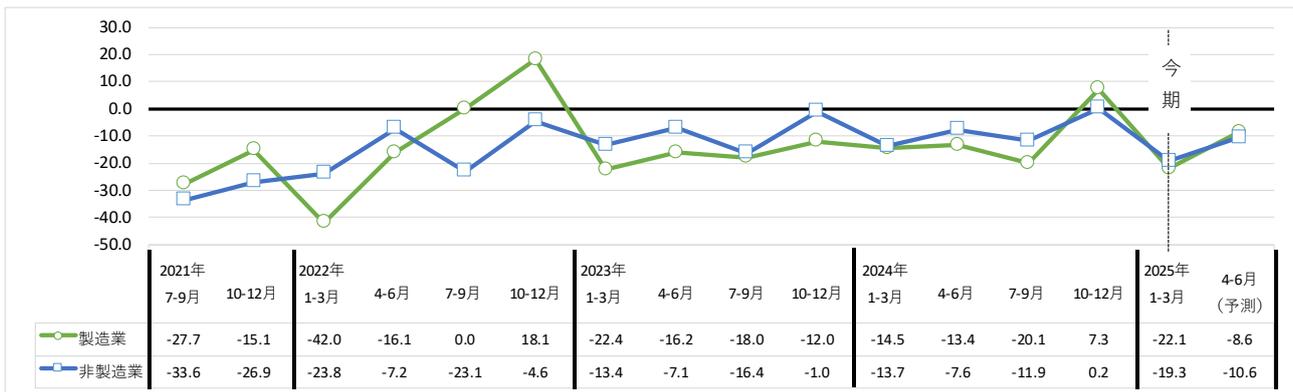


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）			
			2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）	
全体			-4.1	-22.1	-13.5	
規模別	大規模		-11.1	0.0	-44.4	
	中規模		11.0	-18.7	-2.1	
	小規模		-15.9	-25.3	-21.8	
業種別	製造業		-1.9	-22.6	-5.5	
		食料品等	16.7	-27.8	22.2	
		化学・石油製品等	-6.3	-56.3	-6.2	
		ゴム製品製造業	-15.4	-42.3	-20.0	
		鉄鋼・金属等	7.3	-24.4	-14.6	
		一般機械器具	27.3	0.0	9.1	
		電信・輸送機器等	-6.7	-6.7	-13.3	
		その他の製造業	-16.2	-2.7	0.0	
		非製造業		-4.8	-22.0	-15.7
			建設業	-1.3	-5.4	-18.9
			運輸・倉庫業	-5.9	-23.5	-11.8
			卸売業	-25.0	-38.2	-26.6
			小売業	-11.2	-26.1	-20.5
			不動産業	-5.7	-3.8	-13.2
			情報サービス	-15.4	-23.1	-27.0
			宿泊・飲食	26.5	-34.0	-11.3
		対事業所サービス	3.0	-12.3	-2.0	
		対個人サービス	-6.0	-32.9	-14.9	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

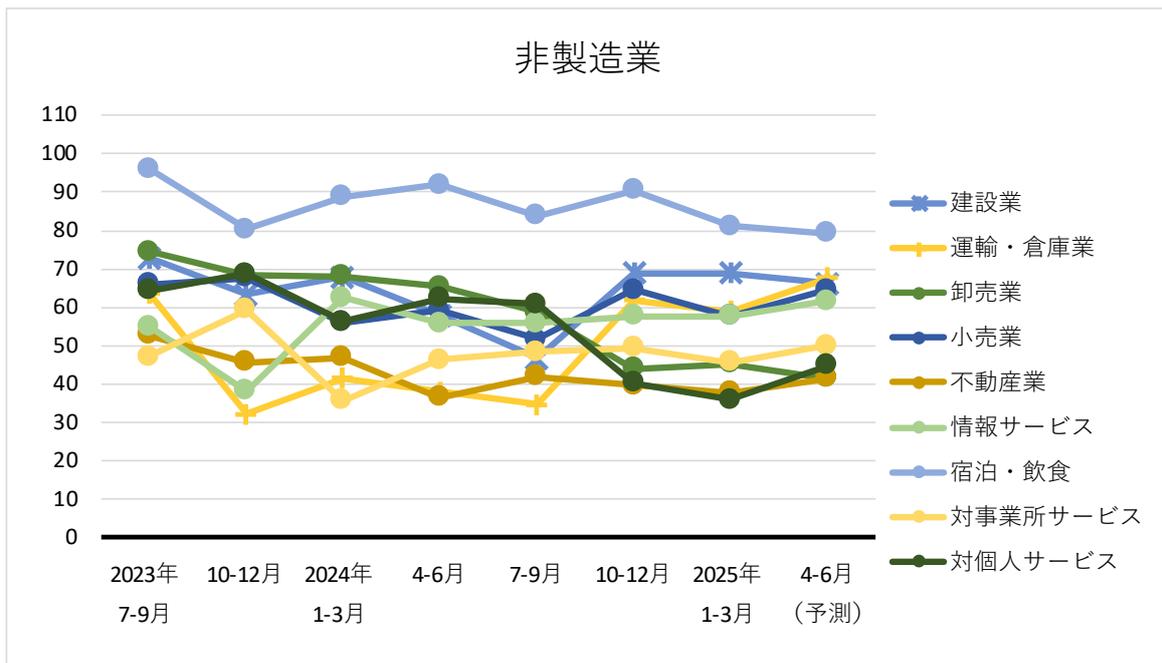
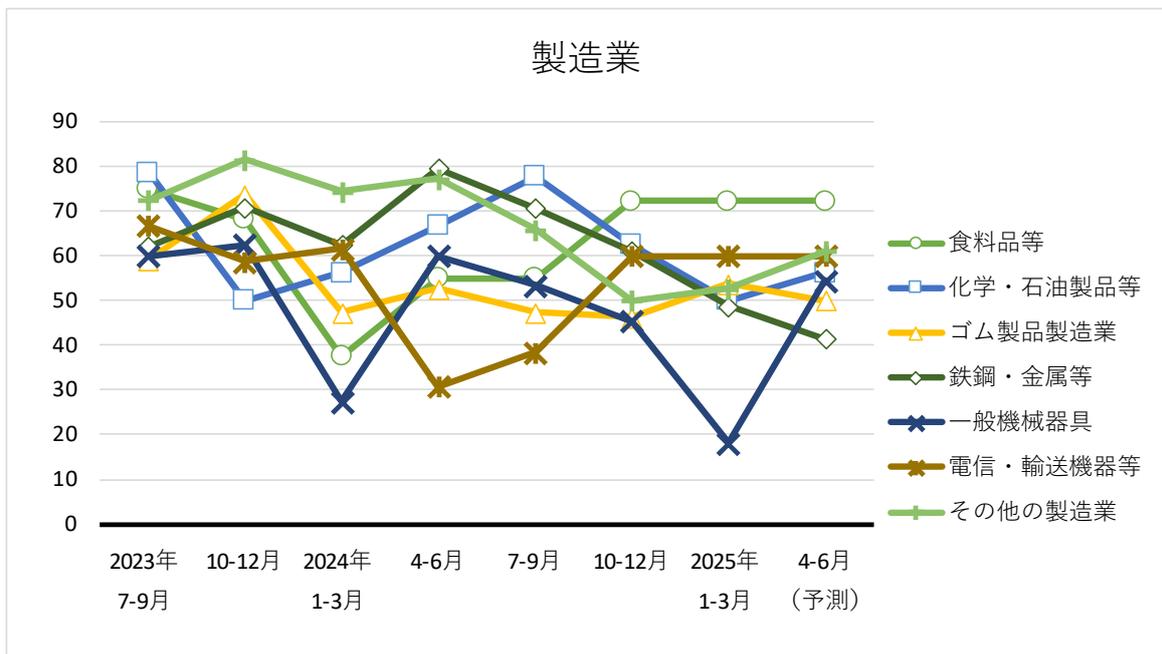
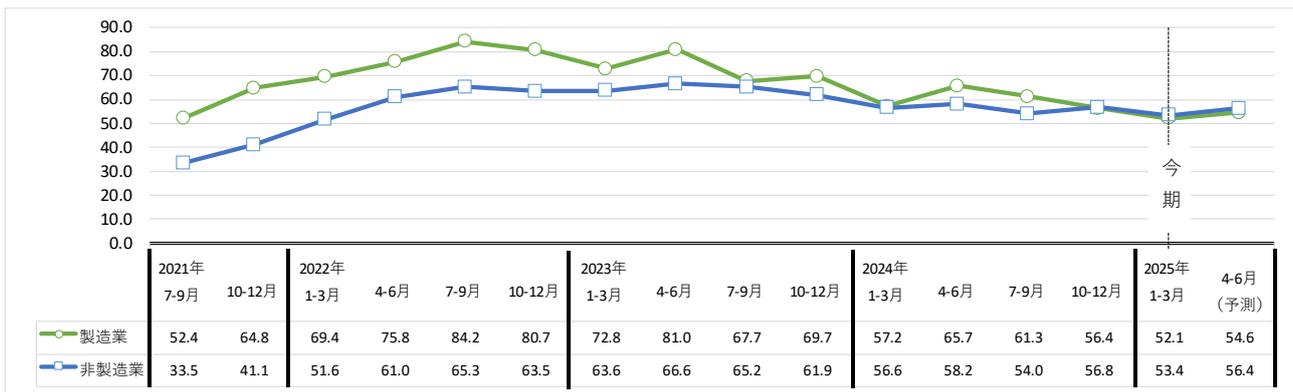


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）		
			2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）
全体			1.8	-19.9	-10.2
規模別	大規模		-11.1	11.1	-22.2
	中規模		16.8	-16.2	5.2
	小規模		-10.1	-23.6	-22.1
業種別	製造業		7.3	-22.1	-8.6
		食料品等	29.4	-17.6	0.0
		化学・石油製品等	0.0	-56.2	6.3
		ゴム製品製造業	-11.6	-53.8	-19.3
		鉄鋼・金属等	19.5	-24.4	-19.5
		一般機械器具	36.4	9.1	9.1
		電信・輸送機器等	0.0	-6.7	-26.6
		その他の製造業	-5.4	0.0	2.7
		非製造業	0.2	-19.3	-10.6
		建設業	4.1	-2.7	-20.3
		運輸・倉庫業	11.7	-26.5	0.0
		卸売業	-20.2	-39.2	-16.0
		小売業	-8.6	-26.4	-13.2
		不動産業	-7.4	5.6	-14.8
		情報サービス	-15.4	-15.4	-11.6
		宿泊・飲食	21.2	-34.0	-18.9
	対事業所サービス	8.4	-10.4	5.2	
	対個人サービス	10.6	-23.9	-7.4	

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

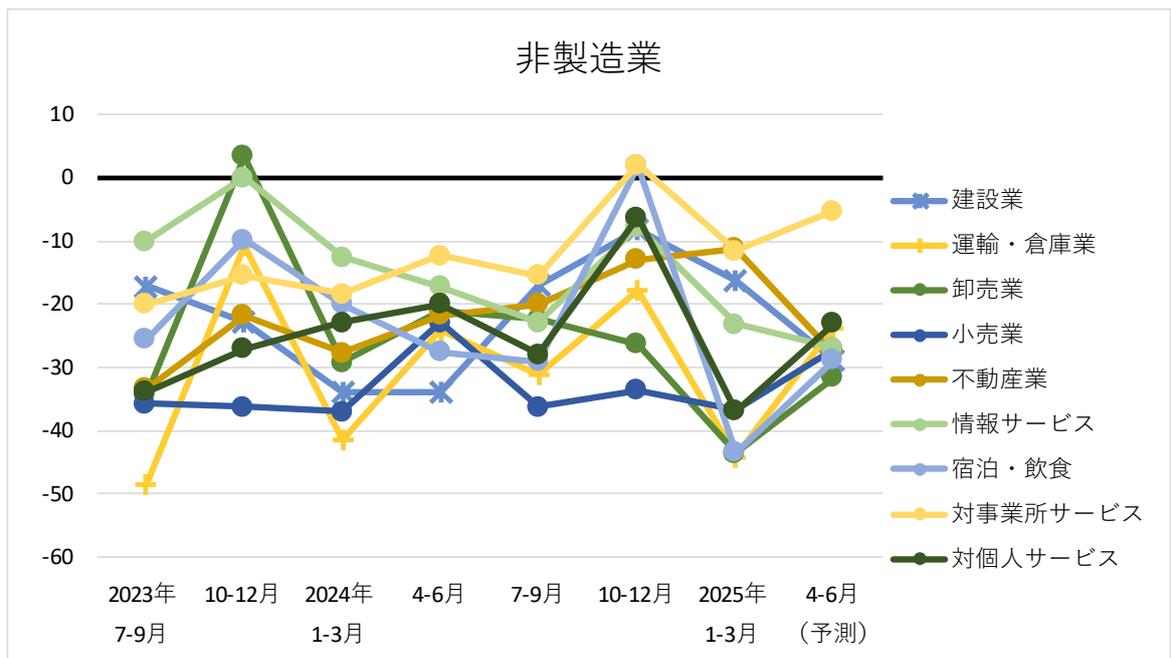
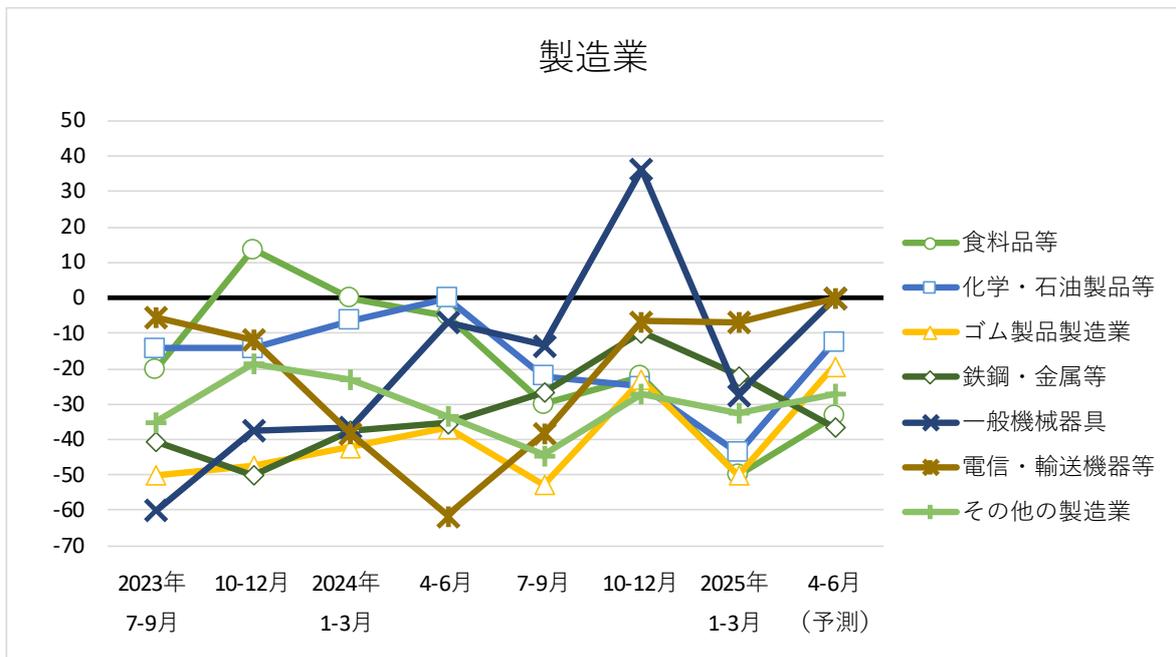
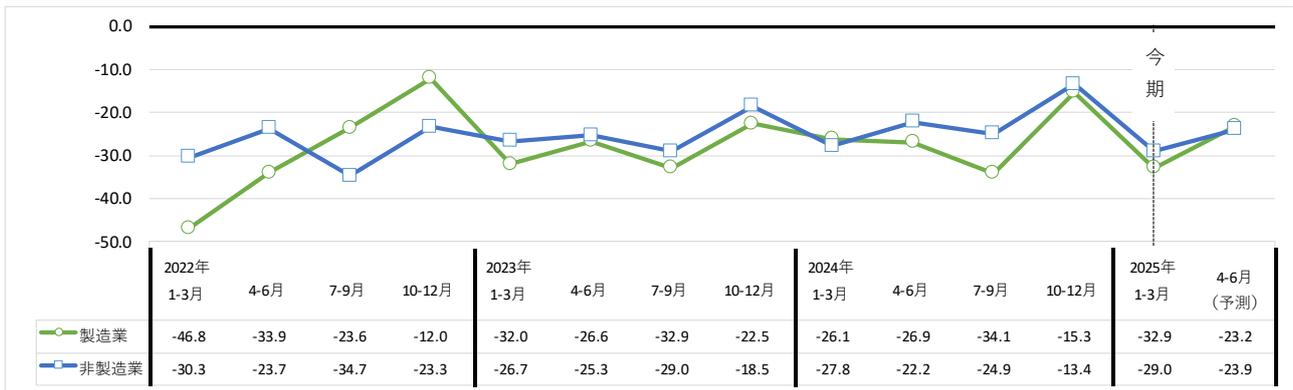


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇－下降）		
			2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）
全体			56.8	53.1	56.0
規模別	大規模		77.8	77.8	77.8
	中規模		60.8	58.0	61.6
	小規模		53.2	48.8	51.1
業種別	製造業		56.4	52.1	54.6
		食料品等	72.2	72.2	72.2
		化学・石油製品等	62.5	50.0	56.3
		ゴム製品製造業	46.2	53.8	50.0
		鉄鋼・金属等	61.0	48.8	41.5
		一般機械器具	45.4	18.2	54.5
		電信・輸送機器等	60.0	60.0	60.0
		その他の製造業	50.0	52.7	61.1
		非製造業	56.8	53.4	56.4
		建設業	68.9	68.9	66.2
		運輸・倉庫業	61.8	58.9	67.6
		卸売業	44.0	45.3	41.4
		小売業	64.5	57.6	64.5
		不動産業	39.6	37.7	41.5
		情報サービス	57.7	57.7	61.6
		宿泊・飲食	90.6	81.1	79.2
	対事業所サービス	49.4	45.7	50.0	
	対個人サービス	40.3	35.9	44.8	

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

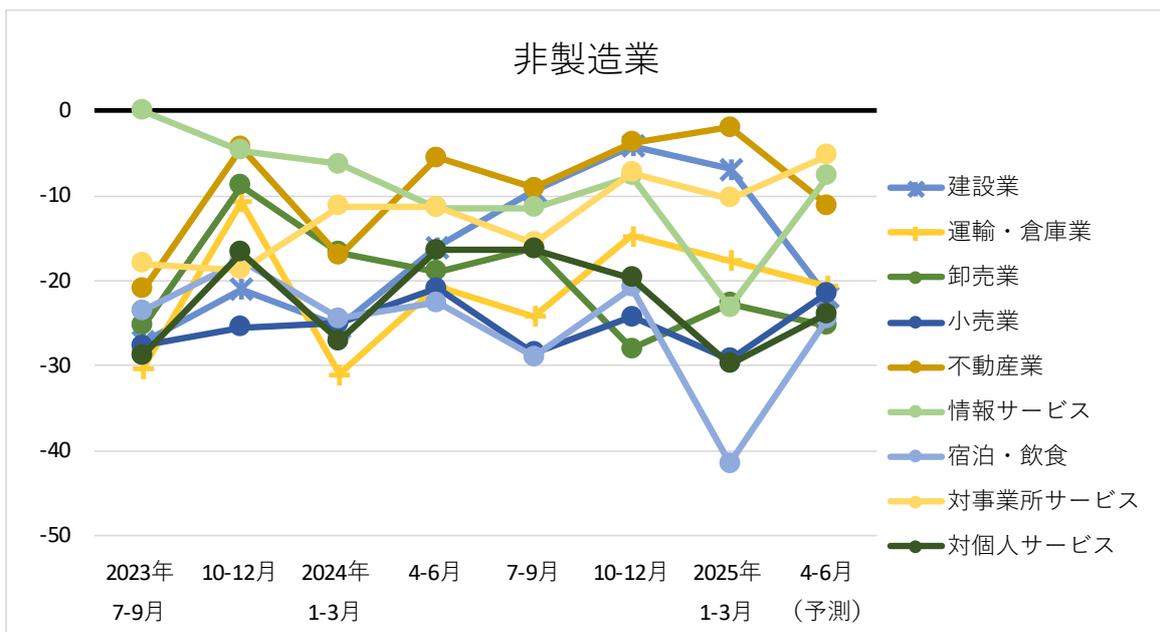
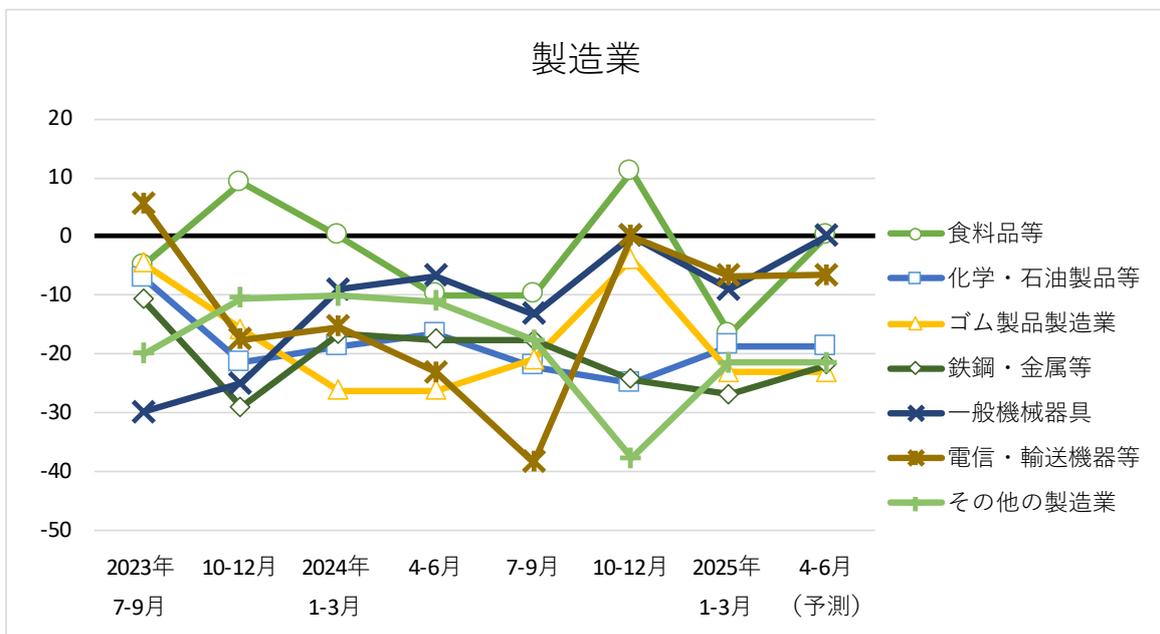
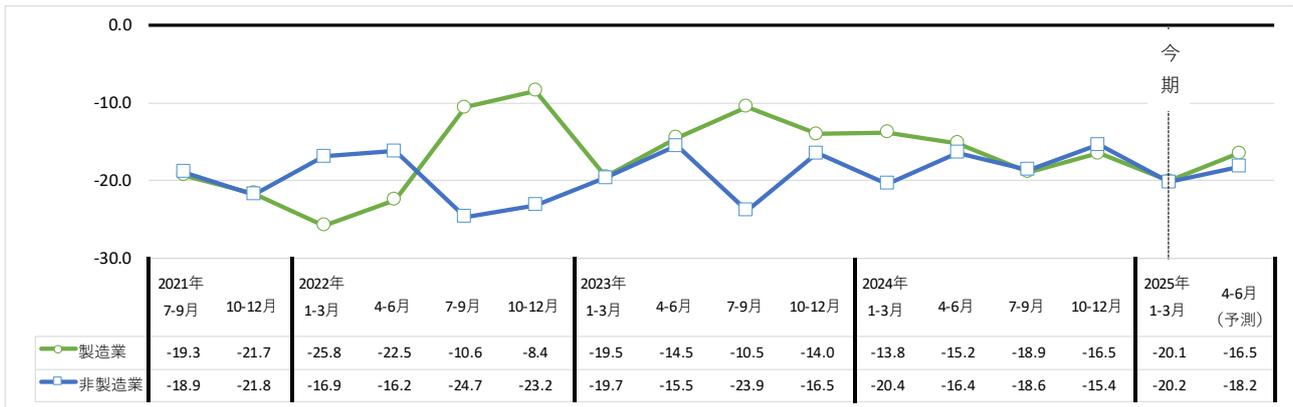


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）		
			2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）
全体			-13.8	-29.8	-23.7
規模別	大規模		-11.1	0.0	-33.3
	中規模		-0.9	-22.9	-9.8
	小規模		-24.1	-35.9	-34.4
業種別	製造業		-15.3	-32.9	-23.2
		食料品等	-22.2	-50.0	-33.3
		化学・石油製品等	-25.0	-43.7	-12.5
		ゴム製品製造業	-23.1	-50.0	-19.2
		鉄鋼・金属等	-9.7	-21.9	-36.6
		一般機械器具	36.4	-27.3	0.0
		電信・輸送機器等	-6.6	-6.7	0.0
		その他の製造業	-27.0	-32.4	-27.0
		非製造業	-13.4	-29.0	-23.9
		建設業	-8.1	-16.2	-28.8
		運輸・倉庫業	-17.7	-44.1	-23.6
		卸売業	-26.3	-43.5	-31.6
		小売業	-33.6	-36.8	-27.1
		不動産業	-12.9	-11.1	-27.8
		情報サービス	-7.7	-23.1	-26.9
	宿泊・飲食	1.9	-43.4	-28.8	
	対事業所サービス	2.1	-11.5	-5.2	
	対個人サービス	-6.2	-36.9	-23.0	

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）		
			2024.10~12	2025.1~3	2025.4~6 （予測）
全体			-15.6	-20.2	-17.8
規模別	大規模		0.0	-11.1	-11.1
	中規模		-8.2	-15.9	-9.4
	小規模		-21.9	-23.8	-24.7
業種別	製造業		-16.5	-20.1	-16.5
		食料品等	11.1	-16.6	0.0
		化学・石油製品等	-25.0	-18.7	-18.8
		ゴム製品製造業	-3.9	-23.1	-23.1
		鉄鋼・金属等	-24.4	-26.9	-21.9
		一般機械器具	0.0	-9.1	0.0
		電信・輸送機器等	0.0	-6.7	-6.6
		その他の製造業	-37.8	-21.6	-21.6
		非製造業	-15.4	-20.2	-18.2
		建設業	-4.1	-6.8	-21.9
		運輸・倉庫業	-14.7	-17.6	-20.6
		卸売業	-28.0	-22.7	-25.3
		小売業	-24.3	-29.2	-21.5
		不動産業	-3.7	-1.9	-11.1
		情報サービス	-7.7	-23.1	-7.7
	宿泊・飲食	-20.8	-41.5	-24.5	
	対事業所サービス	-7.3	-10.3	-5.2	
	対個人サービス	-19.7	-29.8	-23.9	

3. アンケート内容（オンライン調査）

総務省届出済
神戸市1号

第44回 神戸市景況・雇用動向調査

■対象要件の確認

事業所の場所

■属性

資本金 従業員数（常用・日雇・パートを含めて）

主な業種・大分類・中分類（生産、売上、従業員数などから主な事業を判断し1つ選択）

■景況に関する調査

（設問1～5共通）

それぞれ、直前の四半期と比べてどうか、またはどう思うかをお答えください。

- ・2024年10～12月期（実績）
- ・2025年1～3月期（実績）
- ・2025年4～6月期（予想）

1. 貴社の業況

業況がどちらに向かっているかの質問です。売上、生産、利益、受注などを総合的にご判断のうえ、単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：上昇／不変／下降

2. 生産・売上

生産・売上がどちらに向かっているかの質問です。単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：増加／不変／減少

3. 原材料・仕入価格

原材料価格や仕入価格がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：上昇／不変／下降

4. 採算

採算がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：好転／不変／悪化

5. 資金繰り

資金繰りがどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：好転／不変／悪化

第44回 神戸市内景況・雇用動向調査

<結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10